

Information

2023 年度木村看護教育 振興財団助成募集

●看護研究助成

助成対象▶看護の質的充実・向上が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のものに限る。共同研究、感染症をテーマとする研究を歓迎

2023年度助成する研究の分野▶基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、その他

応募資格・要件▶

- ①申込者（共同研究の場合は研究代表者）は、日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人
- ②大学教員、大学院生は対象外。ただし、大学教員や大学院生でも、臨床・地域看護に従事している看護職者は対象となる
- ③助成決定後、ただちに所属機関等の倫理審査委員会等への承認申請を行うこと。または、すでに承認申請中であること
- ④関係所属長の推薦があること
- ⑤営利を目的とする研究ではないこと

研究期間▶2023年4月1日～2025年3月31日（2年間）

助成金額▶1件につき100万円を限度。選考委員会の査定を経て決定された助成金額を、助成年度の6月中旬に全額一括支給

助成金の使途および報告▶

- ①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人件費は対象から除外
- ②助成金の使途は、助成対象研究に必要な直接経費に限る。間接経費は含まない
- ③助成金の使途については、研究成果の提出時に本財団所定の様式に領収書等を添えて詳細な報告をする

応募方法▶下記ホームページにある「看護研究助成申請書申込フォーム」に必要事項を記入し、申請完了ページから要綱・応募用紙をダウンロード。必要事項を記入の上、次の①～②の書類とともに、下記申込書送付先へ送付

- ①研究計画書（記入例参照）
- ②希望助成額の積算内訳（研究助成費目一覧および記入例参照）

申込締切日▶2023年1月19日(木)必着

選考結果▶2023年3月下旬に文書で通知。助成決定者は後日、必要書類を提出

研究成果の報告▶

- ①原則として、2025年3月31日までに研究論文を学会誌等に投稿し、それが掲載されることにより成果の発表とする。本財団には当該論文（別刷り）および抄録を提出。抄録は、本財団のホームページに掲載する予定
- ②上記以外の場合は、上記期間内に本財団に看護研究報告書を提出。当該報告書は、『年次報告書』または本財団のホームページに掲載。当該報告書の内容は、国の内外を問わず、他の出版物（デジタル媒体を含む）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る
- ③論文投稿、看護研究報告書の発表方法を問わず、本財団主催の報告会（ウェブ形式を含む）で研究成果の概要を報告
- ④研究成果を関係学会等に発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団の助成を受けた研究である旨を明記

その他▶

- ①提出された書類は返却しない
- ②1993年度～2022年度に本財団の看護研究助成を受けた申込者（グループの場合、代表者）は、選考から除外されることがある

●海外看護研修助成

研修先▶メイヨークリニック (Mayo Clinic 米国ミネソタ州ロチェスター)

応募資格・要件▶

- ①日本在住で看護師・助産師・保健師のいずれかの資格を持っていること
- ②看護実務経験が5年以上あり、現在、臨床の現場に従事していること
- ③心身共に健康であること
- ④所属長・所属施設の推薦・海外への渡航許可を得ていること
- ⑤TOEIC600点以上、TOEFLの所定の点数（CBT173点以上またはIBT61点以上）またはIELTS5.0点以上を持っていること

*研修に通訳はつかないので、日常会話と看護の専門分野の英語力が必要

募集人員▶5名

研修期間▶2023年9月中旬から渡航日数を含めて約2週間

研修の方法▶研修者の目的に応じた個別プログラムに沿った講義、実習および見学による研修

助成金の現物支給▶研修費、宿泊費、羽田空港発着の往復渡航費および海外旅行保険費用

*羽田空港までの交通費は対象外

応募方法・書類▶下記ホームページの「海外看護研修助成申請書申込フォーム」に必要事項を記入し、申請完了ページより要綱・応募用紙をダウンロード。必要事項を記入の上、「応募資格・要件⑤」に記載している英語力を示すスコア証明書の写しとともに、下記申込書送付先へ送付

申込締切日▶2023年1月19日(木)必着

選考結果の通知▶2023年3月下旬に文書で通知。助成決定者は、後日必要書類を提出

研修成果の報告▶2023年12月開催予定の海外看護研修報告会で研修成果を発表。また、2024年2月29日(木)までに研修成果をまとめたレポートを提出

その他▶提出された書類は返却しない

●専門看護師（CNS）奨学金助成

助成対象▶2022年10月時点で日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の14専門看護分野を目指す者のうち、以下の「応募資格・要件①～④」を満たす者

がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護、放射線看護

応募資格・要件▶

- ①看護系大学大学院修士課程に在籍し、日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得する見込みの者
- ②上記のうち、2023年4月に同課程の最終年次に進級予定で、2024年3月に同課程を修了する見込みの者
- ③2024年の専門看護師認定審査申請期間

開始日までに、日本看護協会が定める専門看護師認定審査の受験資格を満たす見込みの者

- ④専門看護師認定審査を必ず受験して資格認定を受け、認定された専門看護分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者

募集人員▶10名

奨学金の総額▶1人あたり60万円。助成年度の6月中旬に前期分として30万円、10月中旬に後期分として30万円支給。使途の報告は不要

応募方法・同書類▶下記ホームページの「専門看護師奨学金助成申請書申込フォーム」に必要事項を記入し、要綱・応募用紙をダウンロード。「2023年度 専門看護師奨学金助成申込書」(様式1)に必要事項を記入の上、次の①～④の書類とともに、下記申込書送付先へ送付

- ①専門看護師としての将来展望、抱負
②指導教員の推薦書(様式2)
③本年度前期または昨年度の成績証明書
④5年以上の実務経験の全てを証明する書類(様式3)

*①の書面の様式は自由。ワープロ1200字程度を上限にA4判で記載すること

*②③についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

*④の(様式3)は必要な分コピーして使用のこと

*①～④のうち、提出できない書類がある場合は、理由書を同封すること

申込締切日▶2023年1月19日(木)必着

選考結果の通知▶2023年3月下旬に文書で通知。助成決定者は後日、必要書類を提出

奨学金受給後の報告▶奨学金受給後は、各種証明書を提出すること(提出期日は、助成決定後に連絡)

①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの

②専門看護師の認定を証明するもの

③就業先の在籍を証明するもの

奨学金の返還：奨学金は原則返還不要。ただし、本財団事務局は、助成年度の4月1日から起算して6年経過するまでの間に専門看護師の認定を受けなかった者に対しては、奨学金の返還を求めることができる。

返還を求められた者は、請求月から起算して24か月以内に奨学金を一括全額返還しなければならない

その他▶提出された書類は返却しない

【以下共通】

問い合わせおよび申込書送付先▶公益財団法人木村看護教育振興財団 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 8階

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

<https://www.nurseed.jp/>

第23回認定看護管理者会 総会・研修会(現地+Web開催)

日程▶2023年2月4日(土)10:00～16:00

会場▶株式会社システナ(東京都港区)

内容▶特別講演「“看護管理者として生きる”を支える—管理職としてのキャリアデザインとセカンドキャリアを考える(仮)」

廣川進(法政大学)／看護管理実践報告会

参加者▶会員のみ

参加申込方法▶会員向けにメールにて案内

問い合わせ先▶認定看護管理者会会員事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ランダックスビル 株式会社春恒社会事業部内

✉ thekangokanri@shunkosha.com

<http://www.thekangokanri.org/>

第40回日本ストーマ・ 排泄リハビリテーション学会 総会(現地開催)

日程▶2023年2月24日(金)～25日(土)

会場▶京王プラザホテル(東京都新宿区)

テーマ▶未来のための今—次の10年のために今を見つめる

問い合わせ先▶運営事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館4階 株式会社インターグループ内

☎ 03-5549-6909

FAX 03-5549-3201

✉ jsscr40@intergroup.co.jp

<http://square.umin.ac.jp/jsscr40/index.html>

日本小児看護学会第33回 学術集会(現地+Web開催)

日程▶[現地] 2023年7月15日(土)～16日(日)、[オンデマンド配信] 2023年7月20日(木)～8月20日(日)(予定)

会場▶パシフィコ横浜 会議センター(横浜市)

テーマ▶子どもたちの未来を見据え、今やるべきこと

プログラム▶会長講演／特別講演／教育講演／シンポジウム／テーマセッション 20題程度／一般演題(口演・ポスター) 200～250題

*上記は予定で、変更の可能性がある。詳細は、下記の学術集会ホームページに随時掲載予定

対象者▶小児看護に係る看護師、研究者等

参加予定数▶約1500名(見込)

演題・テーマセッション申込期間▶2023年2月12日(日)まで

参加申込▶[前期] 2023年6月16日(金)まで、[後期] 2023年7月1日(土)～8月20日(日)

参加費▶[前期] 会員1万円、非会員1万2000円、[後期] 会員1万2000円、非会員1万4000円、学生(前後期共通)3000円

問い合わせ先▶運営事務局

〒456-0005 愛知県名古屋市熱田区池内町3-21 株式会社ユピア内

☎ 052-872-8101(平日10:00～16:00)

FAX 050-3737-7331

✉ jschn33@yupia.net

<https://jschn33.yupia.net/>

*掲載している情報は12月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。